

県教育長に就任した

いけがみ 池上
しげひろ 重弘さん

時の人



静岡文化芸術大などで長年、文化人類学や多文化共生論の研究に携わり、1日付で県教育長に就任した。札幌市生まれ、33歳で本県へ移住。就任会見では自身を「静岡の魅力にとりつかれた一人」と称した。大学教育の経験から「教育は人間の可能性を信じること。子どもたちの可能性の開花をサポートできる学校の環境整備が教育委員会の仕事」と意気込む。

2015年度から県総合教育会議に向け川勝平太知事が設置した「地域自立のための『人づくり・学校づくり』実践委員会」に関わり、20、21年度は、高校教育の在り方を検討する「才徳兼備の人づ

くり小委員会」委員長として公立の学校現場に足を運んだ。23年度に開校する県立夜間中学の有識者会議の委員なども務めた。

高校教育では特に、新学習指導要領に盛り込まれた探究活動に着目している。「多様な課題に主体的に立ち向かい、深く学ぶことで知の地平を広げる活動」。学校視察で地域との関わりを通じた探究活動の実践例を見て、「子どもたちが地域にある問いを先生や地域の大人と共に考えていくことが、豊かな学びの機会になる」と感じ、地域連携のさらなる推進に意欲を示す。

県教委の施策に助言する立場から、実現へのかじ取り役に。行政職への転身を「人生では起承転結の『転』の部分」と位置付け、「小中学校や高校で学ぶ子どもたち、生涯学習分野で学ぶ県民のために自分の力を生かしたい」と語る。趣味はジャズピアノとマラソン。掛川市在住、59歳。